

# Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

**2009**  
平成21年

**4.15**

目次

「広げよう! 防災の輪」  
防災ずきん普及活動 2

中山校区 4

学校は今…地域に支えられた教育へ 5

たはらしティニュース 6

田原市民活動支援センターのページ 7

お知らせ 8

連載コーナー 10

豊かな自然を  
いつまでも!





# 「広げよう！防災の輪」～老人クラブ女性部の取り組み～ 防災ずきん普及活動

田原市老人クラブ連合会では、「地域と連携」を合言葉に、小学生の登下校に付き添う見守り隊をはじめ、さまざまな活動を行っています。中でも今回は、平成19年に結成された老人クラブ女性部が力を入れて取り組んでいる、防災ずきんの普及活動についてご紹介します。

## 地域へ広がる防災の輪

女性部が結成された際に、役員の皆さんが自分たちにも地域のために何かできることはないかと思いついたのが、防災ずきんの普及だったそうです。



▲老人会の研修会だけでなく、地域の防災リーダーなどの研修会でも、防災ずきん作りが行われました



▲防災ずきん作り推進員の、女性部部長・加子八重子さん(写真中:加治町)、女性部副部長・小久保恵子さん(写真左:和地町)、同・杉浦すみ子さん(写真右:赤羽根町)

「災害が起きたときに一番大切なのは、自分の身を自分で守ること」と話すのは、推進員の小久保さん。「回作つたら、誰でも簡単に作れるようになりますよ」と話すのは、推進員の加子さん。「講習会で学んだ老人クラブ会員さんが地域で広めてくれます」と話すのは、推進員の杉浦さんです。

平成20年7月に、防災ずきん作りの推進員による講習会が行われて以降、市内各地で防災ずきん作りの講習会が開催されています。





### ●防災ずきんの材料

- ・バスタオル …1枚
- ・手ぬぐい …1本
- ・タオル …2枚
- ・靴下 …1足
- ・軍手 …1組
- ・ストッキング …1足
- ・洗濯用ネット …1枚
- ・ビニール袋 …1枚
- ・安全ピン …2個
- ・尿取りパット …2枚
- ・ふえ …1個
- ・マスク …1枚
- ・連絡用メモ …1枚
- ・しつけ糸 …適宜

▲防災ずきんの中には、災害が発生したときに役立つものが満載。すぐに使えるように、ふえは中に入れて、外に出すなど、推進員の皆さんでアイデアを出し合い、実用的に改良しているそうです

●防災ずきん作りについてのお問い合わせは  
田原市社会福祉協議会  
(老人クラブ担当)  
☎23局0610 FAX 23局3970

## 一人に二つの普及を目指して

平成20年度には、防災ずきん作りの指導者育成に取り組んできた推進員の皆さん。本年度からは、一人暮らしの高齢者を訪問する「ゆうあい訪問」で防災ずきんを配布するなど、一人に二つの普及を目指して頑張りたいと意気込んでいます。

防災ずきんとは、災害が発生したときに、頭部を保護するための簡易防具です。昔の防空ずきんをもとにして、中に防災グッズを入れるなど、より機能的に作られています。



▲田原市老人クラブ連合会  
会長の三浦康さん

## 「市民の声」紹介



広報たはらには、「広報たはらクイズ」の答えと一緒に、さまざまなご意見やご質問が寄せられます。今回は、市民の皆さんから寄せられたご意見とご質問の一部をご紹介します。

**Q.1** 市役所の組織が変わったので、変更になった窓口を教えてください。

**A.1** 4月1日から、グループ制度の導入などにより市の組織・機構が大幅に変わりました。詳しくは、広報たはら4月1日号の8頁から10頁をご覧ください。また市役所にお越しの際は、お近くの職員にお気軽にお尋ねください。

**Q.2** 定額給付金の給付に合わせた、お得な商品券などの発売はありますか？

**A.2** 地域経済活性化のため、給付金はぜひ地元でお使いください。商工会によるプレミアム付商品券（1万円で千円分お得）の発売が4月27日から始まる予定です。詳しくは、27日の新聞折込チラシか各商工会までお問い合わせください。

▼田原市商工会 ☎22局6666  
▼田原市商工会赤羽根支所 ☎45局2000

▼渥美商工会 ☎33局0441

**Q.3** 地元産の食材を使ったレシピを載せてください。

**A.3** 我が家の自慢の一品などがありましたら、ぜひご投稿ください。皆さんにご紹介したいと思います。

お気軽に、ご意見やご要望をお寄せください。  
▼あて先 ☎441-3492  
(住所不要) 田原市役所広報たはら



## 基礎データ

【人口】5,057人(H21.2.28現在)  
【世帯】1,398世帯(H21.2.28現在)  
【面積】約1,370ha  
【公共施設】中山保育園・小中山保育園・中山小学校  
【史跡】藤原古墳群・旧陸軍伊良湖試砲場跡  
【主な産業】農業・漁業

## 校区自己紹介⑨

# 中山

## 校区の特色

中山校区は田原市の西北部に位置し、広大な農地と海岸を持ち、中山地区と小中山地区の大きな2つの自治組織で成り立っています。

主産業は農業と漁業で、どちらも時代と共に進化してきましたが、現在、それぞれに課題を抱えています。それでも、全国的に見れば後継者の多い地域であると思われる。豊川用水の通水と、比較的平坦な土地に恵まれ、農地は雨上がりでもすぐ仕事ができる畑で、年間を通じキャベツ栽培と施設園芸が盛んです。また、漁業が専業で生計を立てている世帯も多くを数えます。若者は通勤者が中心となっています。

緑に恵まれた自然環境の中で、スポーツやふれあい活動を進めています。



●福江漁港の正月風景

## 中山西湖院の伊左久衛

徳川五代将軍綱吉の時の天和元年、飢饉に苦しむ村を救わんと、庄屋伊左衛門と久衛門が領主に願い

出たがかなわず、ついに公儀へ訴願。翌年、両名は直訴の罪で獄死します。しかし、130年後の文化10年には、村に害虫が大発生し大恐慌が起こったため、翌年から両名の霊を地主神と崇め、毎年2月と7月に村を挙げて盛大に『虫祭り供養』を営んでいます。



●虫祭り供養

## てんぱっこクラブ

『てんぱっこクラブ』とは、私たちの校区2つの町(中山・小中山)の子どもに関するボランティア団体です。校区単位での活動は不慣れで戸惑いもありますが、学校単位で友達と一緒に参加できる子どもたちの笑顔、協力しあう両町の大人たちの姿を見ることができます。我が町愛も必要ですが、視野の広い大人に育ってほしいと願う私たちにとって、校区の自慢できる団体にしたいと思います。



●キックドッジ大会

## 桜まつり [小中山児童公園]

毎年満開の桜の下で行われる「桜まつり」。ライトアップもあり夜桜を楽しむこともできます。公園付近には陸軍の施設跡(射場、油脂車庫、気象観測兼展望場・射場の門柱)が残っており、当時を垣間見ることができます。また、地域の人に親しまれてきた田戸神社も隣接しており、春の日に散歩しがてら、歩いてみるのもいいかも…。



●桜まつり

## 小中山の奇祭 “かあか”

秋祭りの宵、地区の諸社で“かあか”があります。主役は男児で、参道に列座し、板を打ち鳴らし「お白餅食いたいカーカ」と叫びます。参拝者は用意したお白餅を供えて回り、氏神や区内の各社を巡拝します。

(文:中山校区)



●かあかまつり





# 学校は、今…

✿ SCHOOL REPORT ⑨  
地域に支えられた  
教育へ

市内の学校では、地域の環境や文化を生かし、地域の方々の協力を得て、特色ある教育活動を行っています。今回は、地域と連携した取り組みをご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



## 地域のすばらしさを味わう（童浦小学校）

平成20年度で11回目を迎えた『笠山だでのんまつり』。11月15日の午前中は、童浦小学校で地域の方を講師に、子どもたちは11種の体験講座に取り組みました。「お手玉」「おはじき」「けん玉」など昔の遊び体験や「凧作り」「しめ縄作り」「勾玉作り」など多彩な内容でした。午後は笠山で「だでのんギネス」や「野点」に取り組みました。

まつり会場では、地域の方々に用意していただいた豚汁やだんご、焼き芋などが振る舞われ、うれしそうな子どもたちの笑顔があふれました。子どもたちからは「地域やPTAの方々のおかげで、とても楽しい一日を過ごすことができました。中学生になっても、絶対に『笠山だでのんまつり』のことは忘れません」などの感想が寄せられ、楽しかった様子が伝わってきました。

▶だでのんギネスの種目には、大声大会、こま回し、紙飛行機とばしなどがあります



▶体験講座「凧作り」



▶だでのんギネス「大声大会」



## 地域の子どもは地域で守ろう！（衣笠小学校）

衣笠小学校区では、2年前から「子ども見守り運動」が始まりました。『地域の子どもは地域で守ろう』と、老人会のメンバーが主体となって「子ども見守り隊」が結成されました。現在では、64名のメンバーが、毎朝の登校や低・中学年の下校に付き添うなどの活動を行っています。見守り隊の方々がおそろいのベストを着て付き添うため、不審者が近寄りにくいようです。実際に、見守り隊の方が付き添っているときには不審者は出ておらず、子どもたちは毎日安全に登下校しています。

また見守り隊の方からは、「子どもたちと気軽にあいさつできるようになった」「子どもたちと一緒に歩くことで、体も心も元気になった」という声をいただいています。この活動を通して、子どもたちと老人会の方々とのふれあいも深まっているそうです。



▶見守り隊の皆さんと一緒に下校

3月26日【木】

地域の魅力も発信  
表浜の「道の駅」

市内で3番目となる「道の駅」あかばね口  
コステーションがオープンしました。オー  
プニングイベントでは、赤羽根漁港で揚が  
った海産物や地元の野菜などを販売するコ  
ーナーが好評で、多くの市民や観光客らで  
にぎわいました。



▲鈴木克幸市長(左から4人目)らによるテープカット

4月2日【木】

支え合いの心  
学びます！

満開の桜のもと、田原福祉専門学校の入  
学式が行われ、32名が新生活をスタートさ  
せました。これから2年間で、介護福祉士の  
国家資格取得を目指す新入生の皆さん。市  
外からの新入生も多く、田原での思い出も  
たくさん得て欲しいものです。



▲緊張しながらも力強く誓いの言葉を述べる清田知里さん(右)

4月7日【火】

はなときフェスタ  
みんなおいでよ！

はなとき通りでは、4月25日(土)の「春の  
はなときフェスタ」の開催に向けて準備が進  
められています。当日は、商店街各店でのイ  
ベントのほか、フリーマーケットや夜店、大  
ビンゴ大会、もち投げなどが行われます。

▼田原旭町通り商店街協同組合 ☎22局0248(縦山)



▲開催時間は午後4時から8時まで。雨天の場合は翌日に延期





# 田原市民活動支援センターのページ

平成19年  
7月オープン！

## 田原市民活動支援センターを紹介します



田原市民活動支援センターは、市民と行政の自立したまちづくり推進のために開設されました。田原文化会館フリースペース内にあり、毎週金・土・日曜日の午後2時～7時にオープンしています。お気軽にお立ち寄りください！



ラックで市民活動の情報収集



無線LAN/パソコンで  
どすごいネットを使った仲間づくり



### こんな業務をしています！

- 1 市内の市民活動団体が抱える運営上の課題や、個人の方からのボランティアやNPOなどについての相談を受け、助言やコーディネートを行います。どすごいネット(東三河市民活動情報サイト)の啓発と利用相談も行っています。
- 2 市民間のNPO講座やさまざまな研修事業参加、視察などを行っています。
- 3 情報誌「市民活動だより」と「広報たはら」において情報提供をしています。
- 4 市民活動交流会「しみんのひろば」開催のお手伝いをします。



第2回市民活動相談会のようす

協働のためのよい方法を見つけること、仲間とつながることができます！

## 今後の市民活動ニュース

| 日時                             | 内容                                             | 会場ほか                                             | 連絡先                                                              |    |
|--------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----|
| 5/10(日)、<br>16(土) 他            | 田んぼの学校<br>～どろんこになって、田植えをしよう～                   | どろんこ広場<br>定員25名の2クラス制<br>Aクラス 第2日曜日/Bクラス 第3土曜日   | NPO法人はつくるベリーじゃむ<br>Tel (0531)34-1234<br>e-mail info@huklejam.com | 通年 |
| 5/17(日)<br>11:00~12:00<br>他    | 西の浜クリーンアップ活動<br>ー きれいな海を守るゴミ拾いー                | 「西山町」の信号をでた所から<br>200mほど風車寄り<br><毎月第3日曜日>        | 環境ボランティアサークル亀の子隊<br>Tel 090-9123-7983 (鈴木)                       | 通年 |
| 5/17(日)<br>他                   | 渥美半島の野池を守る会 月例活動会<br>= 市内の野池の清掃活動 =            | 市内の野池 *詳しくはご確認ください<br><毎月第3日曜日>                  | 渥美半島の野池を守る会<br>Tel 090-3425-9800 (村瀬)                            | 通年 |
| 5/24(日)<br>他                   | ログドラムを使ったリズム遊び                                 | 衣笠市民館多目的ホール<br>定員:小学生~大人 30名<br>参加費:2000円(全7回)   | 「チームログっこ」事務局<br>Tel/Fax (0531)23-0664                            | 通年 |
| 5/29(金)<br>18:30開場/<br>19:00開演 | Jazzy Night in Atsumi Vol.5<br>出演♪ Kind'o Soul | 渥美文化会館多目的ホール<br>チケット:1000円ドリンク付<br>(アルコールはありません) | あつみロビーコンサート事務局<br>Tel/Fax (0531)32-3963                          |    |

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています(毎週金・土・日午後2~7時、田原文化会館フリースペース)。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です！\*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先：市役所市民協働課 TEL:0531-23-3504 FAX:0531-23-0180 Email:kyoudou@city.tahara.aichi.jp  
紙面作成・編集：田原市民活動支援センター





# 募集

WANTED

## 男女共同参画推進懇話会委員

男女共同参画社会の実現に向けて、市民・団体・事業者・市がそれぞれの取り組みなどについて協議する懇話会の委員を募集します。

▼募集人員 5名以内（応募多数の場合は市の選考により決定） ▼対象 市内在住または市内で活動している団体に所属し、田原市における男女共同参画の推進に意欲のある方 ▼任期 平成23年3月31日まで ▼申し込み 市民協働課で配布する申込書（田原市ホーム

ページからダウンロード可）に必要事項を記入のうえ、5月11日（月）までに郵送またはFAX・Eメールにて ▼その他 無報酬のボランティアです。

▼市民協働課  
23局3504 FAX 23局0180  
http://www.city.tahara.aichi.jp

## 家庭介護のためのハートフルケアセミナー受講者

高齢者や障害者が住みなれた地域や家庭において、安心して暮らしていけるまちづくりを目的に、家庭介

## 家庭介護のためのハートフルケアセミナー

|   | 日時                      | 内容                                            |
|---|-------------------------|-----------------------------------------------|
| 1 | 5月11日(月)<br>13:30~15:45 | 食生活から介護予防を考える（講義）<br>講師▶平井 恵子さん（管理栄養士）        |
| 2 | 6月8日(月)<br>13:30~15:30  | 食事時の窒息・誤嚥を防ぐために（講義）<br>講師▶廣瀬 玲子さん（看護師）        |
| 3 | 7月13日(月)<br>13:30~15:30 | 家庭内事故を防ぐために（講義）<br>講師▶板部 美紀子さん（看護師）           |
| 4 | 8月3日(月)<br>13:30~15:45  | 高齢者が薬・健康食品と上手に付き合うために（講義）<br>講師▶坂本 るり子さん（薬剤師） |

護のためのハートフルケアセミナーを開催します。介護・福祉に関心がある方は、ぜひご参加ください。

▼対象 一般 ▼開催日時・内容 表のとおり ▼場所 田原福祉センター ▼受講料 無料 ▼定員 35名（申込多数の場合は抽選） ▼申し込み 5月1日（金）までに電話またはFAXにて（FAXの場合は、住所・氏名・電話番号を明記） ▼福祉課

23局3217 FAX 23局3545

## 広報サポーター

▼募集人員 7名以内 ▼応募資格 市内在住の18歳以上の方 ▼活動内容 ①企画立案・情報提供・取材協力・記事作成 ②広報活動などへの意見 ▼任期 平成22年3月31日 ▼謝礼 1万円（年額） ▼応募方法 5月15日（金）までに、応募用紙に必要事項を記入のうえ直接持参または郵送・FAX・Eメールにて ※詳しくは広報たはら4月1日号または田原市ホームページをご覧ください。

▼広報秘書課

22局0138 FAX 23局1691

koho@city.tahara.aichi.jp

http://www.city.tahara.aichi.jp

## パブリックコメント 意見募集！

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。



### ●田原市水道ビジョン案について

募集期間 ▶ 5月1日(金)～6月1日(月)

効率的な経営のもとに、安全・安心な水の供給確保だけでなく、災害時にも安定的に給水するための基本的な方向を示した「田原市水道ビジョン」を策定します。

担当課 ▶ 水道課 ☎23局3532 FAX 22局3184

☒ suido@city.tahara.aichi.jp

### ☒意見提出方法

①公表場所へ持参 ②郵便 ③FAX ④Eメール

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。（個々の意見には直接回答いたしません。）

### ☒計画案の公表場所

市役所水道課、渥美支所市民生活課、赤羽根市民センター、中央図書館、市ホームページ（http://www.city.tahara.aichi.jp）



## 地産地消のお料理教室

「春野菜でいあせランチ」参加者

「旬の食材を旬の季節に」をテーマに、地元で生産されるおいしい旬の食材を使って、キャベツとアンチョビのパスタや春野菜のクラムチャウダー、甘夏ゼリーなどを作ります。

▼対象＝豊橋市または田原市にお住まいの方 ▼日時＝①5月19日(火) ②5月20日(水) いずれも午前10時30分～午後1時 ▼場所＝①ライフポルトとよはし(豊橋市神野ふ頭) ②田原福祉センター ▼定員＝各20名(抽選/結果は後日通知) ▼参加料＝1000円(資料・材料費含む) ▼申し込み＝いずれも4月30日(木)までにハガキ・FAX・Eメールにて(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)

▼豊橋市役所農政課内  
(〒440-8501 住所不要)

☎(0532)51局2471

FAX(0532)56局5130

✉nosei@city.toyohashi.jp



## 生活

LIFE

## 畜産事業を営む方は「悪臭関係工場等の届け出」を

県の条例の規定により、対象となる畜産事業者は悪臭関係工場等の届け出を行うことになっています。4月30日(木)までに必ず届け出て下さい。なお、対象事業所には通知と届出書を郵送しましたが、まだ届いていない場合にはご連絡ください。

## ❖次のいずれかに該当する事業所

- ①豚房の総面積が50㎡以上
- ②牛房などの総面積が200㎡以上
- ③鶏を3000羽以上飼育
- ④つづらを2万羽以上飼育

## ▼環境衛生課

☎23局3541 FAX23局0180

## 伊勢湾海上交通センターの施設を一般公開します

5月12日の「海上保安の日」に伴い、海上保安庁の役割と活動をより理解していただくために、施設を一般公開します。

▼日時＝5月10日(日) 午前10時～午後3時 ▼場所＝第四管区海上保

安本部 伊勢湾海上交通センター

(伊良湖町) ▼内容＝海上保安業務

説明、屋上開放、制服の試着、ペー

パークラフト作成、管制室リーダー

見学など ▼見学科＝無料 ▼その

他＝事前の申し込みは不要ですの

で、当日直接会場へお越しください。

▼第四管区海上保安本部 伊勢湾海

上交通センター

☎34局2700 FAX34局2704



## 寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼3月6日、福江中学校平成20年度卒業生一同様から、福江中学校の学行事充実のためテント1張。

## \*ふるさと寄附金\*

▼2月26日、中嶋耕司様(名古屋市)から金10万円。

▼3月9日、田村周造様(東京都)から金10万円。

▼3月19日、田村節子様(東京都)から金10万円。

文化ホール支援事業

5/17日

## トヨタ自動車ギターマンドリンクラブ「ジャックと豆の木」コンサート

マンドリン演奏と音楽劇「ジャックと豆の木」をお楽しみください。

- ▶日時 5月17日(日)午後2時開演
- ▶場所 田原文化会館文化ホール
- ▶入場料 500円(3歳以上、3歳未満のお子さんは席が必要な場合は有料)
- ▶チケット 市内文化会館ほかで販売中
- ▶賛助 田原混声合唱団
- ▶託児 5月7日(木)までに生涯学習課へお申し込みください。(先着10名)
- ▶問合先 田原市楽友協会(金子) ☎23局2683 実行委員会(酒井) ☎(090)8552局5594

- 生涯学習課 ☎23局3531
- 田原文化会館 ☎22局6061
- 赤羽根文化会館 ☎45局3939
- 渥美文化会館 ☎33局1000

主催:田原市楽友協会

後援:田原市教育委員会・田原市文化協会

定額給付金の給付が始まります。定額給付金は、地域経済活性化のため市内でご利用ください。

# 広がる未来へ

※たはらエコ・ガーデンシティ構想

## ●田原市エコエネルギー導入等補助金制度のご紹介

太陽光発電などの環境にやさしい施設の設置や低公害車の購入には、補助金制度がありますのでご利用ください。補助額や申請方法などが平成20年度と変わりましたので、ご注意ください。

### ◆太陽光発電施設

作られた電気はご家庭で利用し、余った場合は電力会社に売電できます。設置費用はkWあたり平均約60～80万円です。

### ◆高効率給湯器

次の機器が対象です。

#### ●エコキュート

(電気でお湯を沸かす)

#### ●エコジョーズ

(ガスを効率的に使う)

#### ●エコウィル

(給湯と発電を同時に行う)

#### ●エコフィール

(石油を効率的に使う)

### ◆低公害車

ハイブリッド自動車や電気自動車、天然ガス自動車、メタノール車が対象となります。

36

## ■平成21年度エコエネルギー導入等補助金制度

| 補助施設等              | 補助額                | 申請時期               | 他の補助         |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------|
| 太陽光発電<br>(住宅用・事業所) | 上限32万円<br>(8万円/kW) | 工事着手前<br>(2週間程度前)  | 国<br>(住宅用)   |
| 高効率給湯器             | 1施設3万円             | 設置工事支払完了後<br>30日以内 | 国            |
| 低公害車<br>(個人・事業用)   | 上限5万円              | 新車登録支払完了後<br>30日以内 | 国・県<br>(事業用) |

市税などの滞納がある場合は、補助金を受けることができません。平成21年度中に設置や購入が完了するものが対象となります。申請は、本人または家族の方が直接提出してください。予算がなくなり次第、受付を終了させていただきます。

## 今月のエコライフ標語

守らなкゃ

自然がひめいを あげている

◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数  
個人179人・事業所3か所(3月末現在)

## ▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX 23局0180



## 省資源とリサイクル

12

有害ごみと聞くと危険で処理が難しいと思われるがちですが、実は再利用されています。今回は、有害ごみについてお知らせします。

### 有害ごみって？

蛍光管や乾電池など、中に有害な物質が含まれているものを言います。このほかにも、水銀を使用した体温計や鏡などが該当します。

### 有害ごみの出し方

#### ●蛍光管(直管、丸形、ボール形)

箱などから出して、割れないように気をつけてコンテナへ出してください。

※電球や割れた蛍光管は、もやせないごみとして出しましょう。

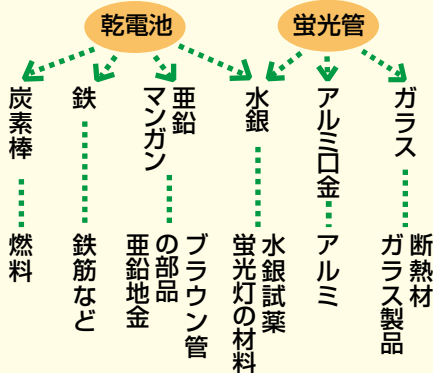
#### ●乾電池(マンガン、アルカリ)

体温計、鏡

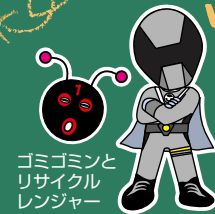
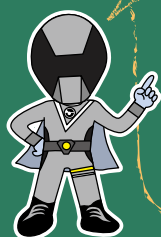
直接コンテナへ出してください。

※充電電池、ボタン電池は家電販売店の回収ボックスに出しましょう。

### 有害ごみの再利用について



清掃管理課  
☎23局35338  
FAX 23局0180





# 交 流 通 信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

## 田原市・設楽町 交流スタンプラリー

平成2年に姉妹提携し、交流を続けている田原市と設楽町では、今年度もスタンプラリーを開催します。応募用紙に指定のスタンプを押して応募すると、抽選で賞品が当たります。スタンプラリーに参加し、設楽町の山の自然を満喫してみたいはいかがですか。

### 〔開催期間〕

4月15日(水)～平成22年2月28日(日)

### 〔参加資格〕

田原市または設楽町にお住まい・お勤め・在学の方

### 〔応募方法〕

田原市の方は、設楽町のスタンプを3つ集めるか、設楽町のスタンプ2つと田原市のスタンプ1つを集め、必要事項を記入のうえご応募ください。



### 〔応募先〕

田原市役所または設楽町  
津具総合支所

### 〔賞品〕

国内旅行券(1本)、グリーンメッセージ1万円分ペア宿泊券(4本)、設楽特産品(40本)など全部で105本

### 〔お問い合わせ〕

政策推進課 ☎23局3507

設楽町津具総合支所管理課 ☎(0536)83局2301

※詳しくは、市役所、渥美支所、赤羽根市民センター、各ラリースポットにある応募用紙またはホームページ(<http://www.city.tahara.aichi.jp>)をご覧ください。

### ●市内に応募用紙を配布しているラリースポット

「道の駅」田原めっくんはうす、シェルマよしご、蔵王山展望台、サンテパルクたはら、赤羽根文化広場、「道の駅」あかばねロコステーション、渥美文化会館、「道の駅」伊良湖クリスタルポルト

大地震や列車・航空機事故といった大規模災害が発生したとき、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的なトレーニングを受けた災害派遣医療チームです。「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとり、DMATと呼ばれています。

1チームは、医師1人と看護師2人、業務調整を行う事務員など2人の合計5人を基本として構成されます。救急救命士がメンバーに入ることもあります。

■活動内容

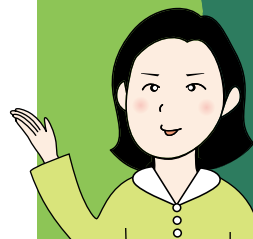
- ▼災害現場でのトリアージ、応急処置
- ▼被災地内での医療情報収集と伝達
- ▼被災地内の病院における診療の支援
- ▼ヘリコプターや救急車などで搬送中の患者の監視、必要な処置など

皆さんは「DMAT」という言葉をご存じですか? 「ディーマット」と読むこの言葉、災害時のニュースやテレビドラマなどで目にした方もいるかと思いますが。今回はこの「DMAT」についてご紹介します。

忍びよる巨大地震

## 防災まめ知識

47



### ■多くの命を助けるために

自然災害だけでなく、事故など大きな災害が発生したとき、一度に多くの傷病者が発生すると、被災地の医療機関だけでは対応しきれない場合が想定されます。このようなとき、DMATが被災地に速やかに向かいます。緊急治療や病院支援のほか、対応困難な重症者をヘリコプターなどで搬送することにより、処置や治療を効率的、効果的に行います。こうすることで、より多くの命を助けることができます。



### ▼防災対策課 ☎23局3548

※トリアージ：災害や大きな事故などでたくさん傷病者が同時に発生したとき、病状やけがの緊急度や重症度を判定し、治療の優先順位を決めることをいいます。

# 歴史探訪

## クラブ

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

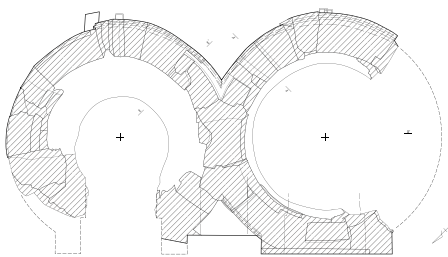
### 明らかにするセメント窯の秘密

その①

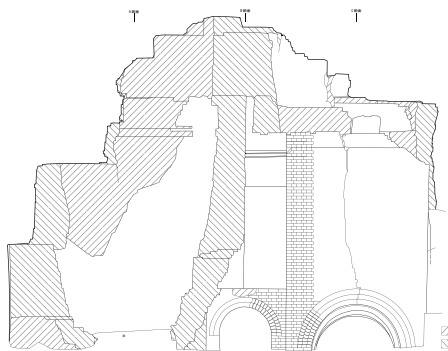
田原市では、御殿山にあるセメントを焼いた窯の調査を開始しました。今回はその概要をお知らせします。

平成20年度は、測量と周囲の地盤状況を調査しましたが、測量結果と現地での観察では、次のことがわかりました。

- ① 同じ規模の窯2基（西側を9号窯、東側を8号窯）が眼鏡のように接して作られていること
- ② 窯の形は徳利形で、円柱形のセメントを焼く部分（焼成室）に円錐形の煙突があったこと



▲9号窯(右)と8号窯(左)の平面図



▲9号窯(右)と8号窯(左)の正面立面図

③ 内・外面ともに何度も補修されて使っていること

④ 8号窯と9号窯の間にあるトンネルが、窯の後ろ側まで突き抜けていること

②については、壊れている部分が大きく、正確な数値がわかりませんが、測量図から焼成室部分は直径約5.8m、高さ7.5mの円柱状であったと推測されます。完全に失われている円錐形の煙突の高さは、古い写真から直径の1.5倍ほどで、煙突の高さは7.5mほどになると推定できます。これらのことから、窯の全体の高さは15m以上あったと考えられます。高い構造物がなかった時代では、ずいぶん目立ったことでしょう。煙突の高さは、焼く温度に

影響がありますので、今後も慎重な研究が必要であるといえます。

9号窯の正面には、下側に幅2mのトンネル状のセメント取り出し口が見えます。この正面だけは直線的な壁で、真つすぐの面を作っています。外側のレンガは、窯の裏面がイギリス積みと呼ばれる細長い面（長手）だけの段と、短い面（小口）を交互に積む方法で積まれています。窯の正面は、オランダ積みと呼ばれる、角の部分に大きめの違うレンガを使用した変則的な積み方をしています。レンガの目地は、どちらもモルタルで積まれている、非常にシンプルな構造です。

徳利形のセメント窯は、全盛期には9基あったのですが、新しい機械の導入などによって昭和11年に7基が取り壊されました。しかしこの2基だけは、セメント産業に携わった方々の努力により今日まで残っています。



▲オランダ積み



▲イギリス積み

文化財課では、セメント、石灰製造産業にかかわる資料、古写真を探しています。皆さんからの情報をお待ちしています。

※セメント窯については、広報たはら平成16年10・12月号の歴史探訪クラブで、3回にわたって掲載しました。広報たはらのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。  
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>

(増山)

### 今月の「表紙」

▼太古の花ともいわれるシデコブシ。市内には、梶、伊川津、黒河、藤七原などの自生地があり、国や県の天然記念物に指定されている群落もあります。今日まで、これらの自生地が残されてきたのは、清らかな水があったからこそ。この豊かな自然を次世代にも残していきたいですね。(〇)

【表紙の写真】伊川津のシデコブシ